

まい 埋やちよ

No. 7

千葉県八千代市
埋蔵文化財通信
2000. 1. 20
(平成12年)

八千代市のインターネットホームページに 埋蔵文化財専門のページを開設

これまで「埋やちよ」の内容については、発行の度に八千代市のインターネットホームページの「お知らせ&トピックス」の中に、最新号のみを掲載してきました。

これをもっと拡大し、「埋やちよ」の内容を蓄積し、常に本市の埋蔵文化財について情報を発信できるようにと平成11年12月10日から、本市のインターネットホームページの中に埋蔵文化財の専門ページを開設しました。具体的には、「八千代ってどんな街」という本市を紹介するコーナーの中に、「埋蔵文化財」というページを作ったのです。直接アクセスする場合のアドレスは、

<http://island.qqq.or.jp/hp/yachiyo-city/syokai/maibun.html>

です。

その内容は、

- 1 概要
- 2 これまでの調査の歩み
- 3 参考文献
- 4 埋蔵文化財情報紙「埋やちよ」
- 5 埋蔵文化財の「照会制度」
- 6 発掘作業をしてみたい人へ

という構成になっています。

まだつたない内容ではありますが、少しずつ充実させて行きたいと思っています。アクセスしていただき、さらにご意見等いただければ幸いです。

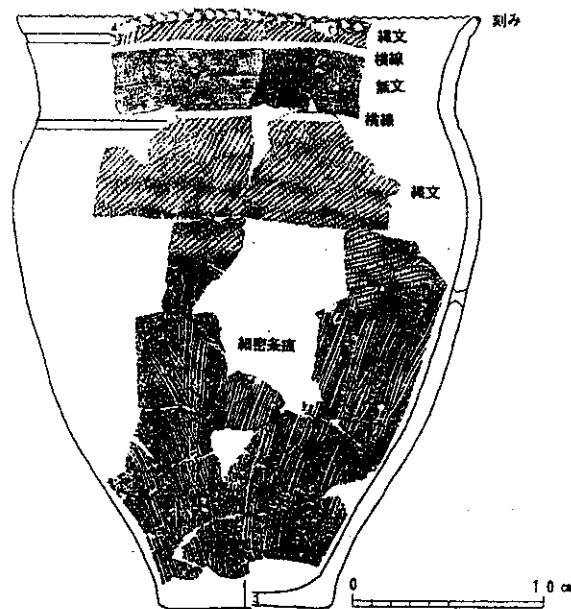
「埋やちよ」とともによろしく願いいたします。

八千代市最古の弥生土器

平成5年4月から平成6年3月まで調査が行われた、村上の沖塚(おしか)遺跡で市内では見慣れない土器片が1個体分、遺構に伴わずに出土しました。

れ以降の時期にも位置づけることができませんでした。

そこで明治大学の石川日出志教授に見て頂いたところ、弥生時代中期前半の土



沖塚遺跡の弥生土器

その特徴は次のとおりです。

①口のへりの部分を棒状の道具で押して刻みを作っている。②その下には縄文がつけられ、胴部の上半にも縄文が施される。使用された縄は特殊なものである。③くびの部分には文様が無く、上下を棒状の道具で横方向に線を引いて区画している。④胴の下半部には、細かい線(細密条痕=さいみつじょうこん)が、斜めや縦方向に施されている。⑤文様が施された順番は縄文→細密条痕→横線、である。

この土器を一目見て、縄文土器の一種と感じませんか。しかし、縄文時代にはぴったりの土器がありませんでした。次に弥生時代の土器を調べると、市内で最も古いとされる弥生時代中期後半や、そ

器であることがわかりました。つまり、八千代市で今まで空白になっていた時期に、確実に人々が生活していることが明らかになったのです。

この時期は八千代市だけでなく関東地方全域で遺跡の数が少ないという現象が見られます。これは縄文時代の終末から認められ、本格的な稲作農耕が開始されたと言われる弥生時代になっても、変わらなかったのです。原因としては、気候の冷涼化が考えられます。

また、この土器が遺構に伴わないで見つかっているように、この時期の集落の様子は詳しくはわかっていません。一方で、再葬墓(さいそうぼ)という特徴的なお墓は多く見つかっています。そこに埋めら

れた壺を見ると、一時期ではなく、ある程度の期間に渡ってお墓が造られていることがわかりますので、自分達の代々の先祖を祭る場所を持ちつつ、竪穴住居のようなしっかりとした家を造らずに、周辺を移動しながら、独自の農耕活動を行っていたものと考えられています。また土器や再葬墓などから、まだ縄文時代的

色彩の強く残る時期であったと考えられます。

沖塚遺跡で発見されたこの土器は、八千代市で初めて稲作農耕を行った人々が携えていた土器なのかもしれません。この一つの土器だけからも、我々の祖先の生活の息吹が感じられます。

(深谷 昇)

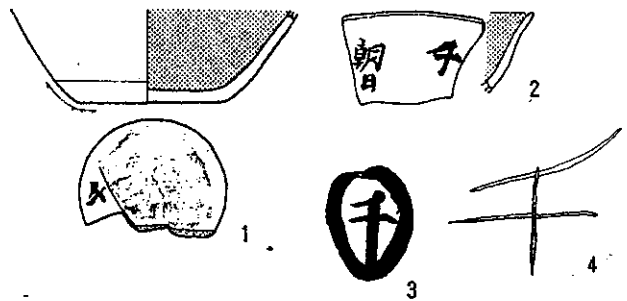
ミレニアム墨書

八千代は墨書のまじりだから...

2000年にちなんで、「千」の字の墨書と刻書をさがしてみました。

古語では、「千」は具体的な数字というよりも、「数が多い」という意味で使われることが多いようです。

土器に書かれた「千」は何を意味しているのかわかりませんが、年頭に当たり読者の皆様の千歳の繁栄を祈って、ご紹介いたします。



1・2 村上込ノ内遺跡出土 3 向境遺跡出土
4 境堀遺跡出土 (刻書)

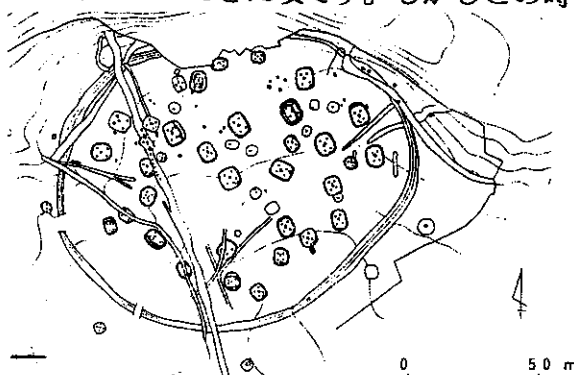
遺跡 千年

今からちょうど2000年前は、弥生時代の中頃に当たります。本号で紹介している沖塚遺跡の弥生土器や、市北部の田原窪遺跡で発見された弥生時代中期後半の環濠集落などがその頃のものです。

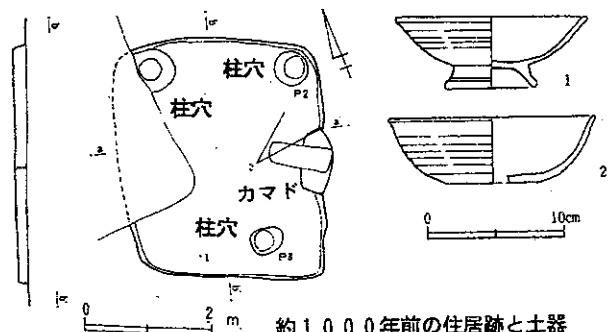
1000年前となると平安時代の中頃で、平安京では藤原道長が次第に栄華を誇るようになってきた頃です。しかしこの時

代、特に下総地方は 939年の平将門の乱と1028年の平忠常の乱との間という、混乱の時代でした。この時期の遺跡は少なく、残念ながら遺跡・遺物から多くを語る事ができません。

弥生から平安までの千年、平安から現代までの千年。同じ千年でも変化の度合いが大きく異なるように感じられます。



約2000年前の集落
(田原窪遺跡)



約1000年前の住居跡と土器
(井戸向遺跡)

(常松 成人)

【ご案内】

千葉県北西部地区文化財発表会～先祖からの遺産、未来への財産～

八千代市を含む県北西部地区13市町が主催する、文化財の展示と発表会で、今回が初めての企画です。本市からは前号で特集した平戸台2号墳の調査について展示・発表します。

発表会 日時/1月30日(日) 10:00～16:00

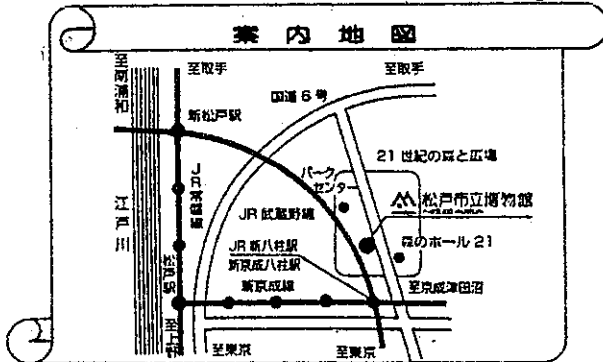
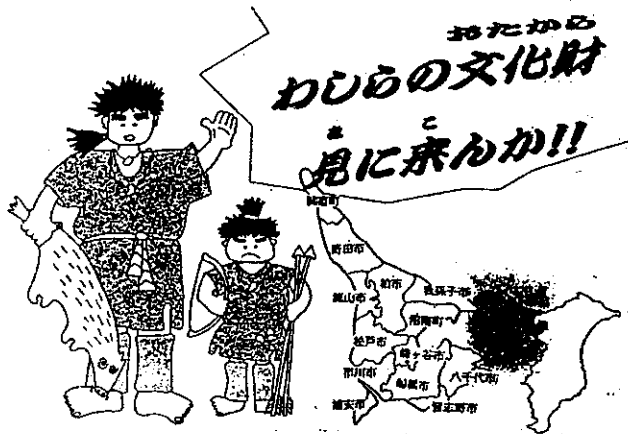
場所/松戸市立博物館 講堂 入場無料

展示 場所/松戸市立博物館 実習室 入場無料

期間/1月15日～2月6日 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日/毎週月曜日

同時開催 発掘された日本列島 '99新発見考古速報展(文化庁、松戸市立博物館主催)(入場有料)



発表会 <プログラム>

- 1 10:10 ~ 10:40
7000年前の縄文のムラ1n船橋
船橋市 泉ノ台貝塚(縄文時代)
- 2 10:40 ~ 11:10
貝塚をつくった人たちの暮らし
我孫子市 下ヶ戸貝塚(縄文時代)
- 3 11:10 ~ 11:40
貝塚の外側の世界・内側の世界
取山市 三輪野山貝塚(縄文時代)
- <昼 食>
- 4 12:45 ~ 13:15
微細遺物の語るもの
習志野市 東野宮遺跡(古墳時代)
- 5 13:15 ~ 13:45
むかしむかしの国分寺
市川市 下総国分尼寺跡(奈良時代)
- 6 13:45 ~ 14:15
見えてきた中世の城、小金城跡
松戸市 小金城跡(中世)
- <休 息>
- 7 14:30 ~ 15:00
鮭をモデルにした?魚形埴輪
沼南町 第1号埴(古墳時代)
- 8 15:00 ~ 15:30
斜面からみた古墳時代のムラ
野田市 岡大和田遺跡(古墳時代)
- 9 15:30 ~ 16:00
古代人、宝とともに眠る
八千代市 平戸台2号墳(古墳時代)

編集後記

新しい年、しかも2000年という節目を迎え、気持ちを新たにしています。

新世紀に向かって、埋蔵文化財は、文化財は、人びとの生活にどんな貢献ができるのでしょうか。そんな自問をするこの頃です。

埋(まい) やちよ No.7

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

平成12年1月20日発行

編集・発行 八千代市教育委員会 生涯学習部

生涯学習課 文化財保護班

八千代市大和田138-2

☎276-0045 ☎047(483)1151 (代表)